



# スキヤントロニクスシリーズ セットアップガイド



(SG400R-ex シリーズ、SG600R シリーズ、SG112T/R)

## 目次

1. はじめに	1
2. セットアップ手順	2
同梱品の確認	2
プリンタドライバをインストールするまでの作業手順	3
本プリンタの準備	4
USB インタフェース接続	5
LAN インタフェース接続	6
RS-232C インタフェース接続	7
パラレルインタフェース接続	9
無線 LAN インタフェース接続	10
3. LAN インタフェース設定	13
4. 無線 LAN インタフェース設定	22
5. プリンタドライバのインストール方法 (USB)	25
6. プリンタドライバのインストール方法 (USB 以外)	29
パラレルインタフェースのインストール	32
RS-232C インタフェースのインストール	33
LAN/無線 LAN インタフェースのインストール	34
7. ラベル発行までの流れ	35
8. プリンタドライバのアンインストール方法	44
9. ドライバ設定情報の保存方法	46
10. ドライバ設定情報の読み込み方法	48
11. プリンタドライバ共有機能	50
12. Q&A	52
13. ご注意	54

**プリンタの設置をした後、セットアップをしてください。**

**本セットアップガイドに、プリンタを使用可能な状態にするまでの作業手順を記載しています。**

# 1. はじめに

本書は、スキャントロニクス SG400R-ex シリーズ、SG600R シリーズ、SG112T/R を、プリンタドライバを使用して動作させるまでの説明書です。

スキャントロニクスシリーズプリンタは、SG400R-ex シリーズ、SG600R シリーズ、SG112T/R で構成されています。

プリンタドライバをインストールする場合は、下表のドライバ名称のプリンタドライバをインストールしてください。

ドライバ名称	対応機種
SATO SG400R_ex	スキャントロニクス SG408R-ex、412R-ex、424R-ex
SATO SG600R	スキャントロニクス SG608R、SG612R
SATO SG112	スキャントロニクス SG112T、SG112R

プリンタドライバ、およびプリンタ設定ツールの対応 OS は次のとおりです。

<x86 版 OS (32bit 版 OS) >

Windows 8.1/10

<x64 版 OS (64bit 版 OS) >

Windows 8.1/10/11/Server 2012/Server 2012 R2/2016/2019/2022

※ARM 版 Windows は動作対象外です。

**プリンタドライバとは、こんなソフトです。**

- ①コンピュータで作成したデータ（文書や絵）を…
- ②プリンタに送り出し…
- ③ラベルに印刷する作業をします。

## 2. セットアップ手順

### 同梱品の確認

箱を開けたら、次の同梱品が揃っているか確認してください。  
同梱品についての詳しい説明は、「取扱説明書」を確認してください。  
取扱説明書の手順に従って、プリンタを設置してください。

#### 同梱品

1. 取扱説明書 (SG400R-ex シリーズ/SG600R シリーズのみ)
2. ダウンロードガイド/安全上のご注意 (SG112R のみ)
2. 保証書
3. クリーニングペン
4. 電源コード/3 極-2 極変換アダプタ
5. カーボンリボン巻取り用支管 (SG112R のみ)

- プリンタドライバ、およびプリンタ設定ツールは、  
<https://www.sato.co.jp/support/> から本プリンタを選択し、コンピュータの OS に合わせてダウンロードしてください。
- 本プリンタに付属の電源コードは、本プリンタ専用です。ほかの電気製品には使用できません。

# プリンタドライバをインストールするまでの作業手順

## セットアップ開始

本プリンタを設置して、プリンタの準備をおこないます。

プリンタを設定します。

プリンタの電源を切り、インターフェースケーブルを接続します。

コンピュータ (Windows) を起動します。

USB インターフェイス接続 (5ページ)

USB

はい

いいえ

RS-232C インターフェイス接続 (7ページ)

RS-232C

はい

いいえ

パラレルインターフェイス接続 (9ページ)

パラレル

はい

いいえ

LAN インターフェイス接続 (6ページ/13ページ)

無線LAN インターフェイス接続 (10ページ/22ページ)

<https://www.sato.co.jp/support/> から本プリンタを選択し、コンピュータの OS に合わせてダウンロードした、「プリンタ設定ツール」を実行して、本プリンタの IP アドレス設定をおこないます。

(25ページ)

**プリンタドライバのインストール (USB)**  
<https://www.sato.co.jp/support/> から本プリンタを選択し、コンピュータの OS に合わせてダウンロードした「プリンタドライバ」をインストールします。

(29ページ)

**プリンタドライバのインストール (USB 以外)**  
<https://www.sato.co.jp/support/> から本プリンタを選択し、コンピュータの OS に合わせてダウンロードした「プリンタドライバ」をインストールします。

セットアップ終了

## 本プリンタの準備

**準備 1. 電源ケーブルをプリンタに接続してください。**



**準備 2. ご使用になるラベル、リボンをセットしてください。**



**設定 本プリンタの動作条件設定（プリンタ設定モード）を設定してください。**



電源を入れてください。

プリンタ設定モードを起動してください。

LCD 画面から、「印字濃度」、「印字速度」、「印字位置補正」、「ゼロスラッシュ切替」、「JIS コード切替」、「漢字書体切替」、「プロポーショナルピッチ設定」などの各種設定をします。

※ 詳しい内容は、取扱説明書をご覧ください。

**準備 3. 本プリンタの動作条件設定後、電源を切ってください。**

- コンピュータに合わせた通信設定をおこなってください。プリンタの設定をした後、プリンタドライバをインストールしてください。
- バーコードをイメージ（BMP データなど）で作成するツールで作成し、当社プリンタで印字出力した場合、スキャナなどで読取りができない場合があります。これらのツールはあくまでもバーコードをイメージとして作成するため、正しいデータにならない場合があるためです。このため、スキャナなどでバーコードの読取りができない場合は、プリンタおよびプリンタドライバのバーコード不具合ではありません。これらのツールを使用された場合の読取りについては保証いたしませんのでご注意ください。

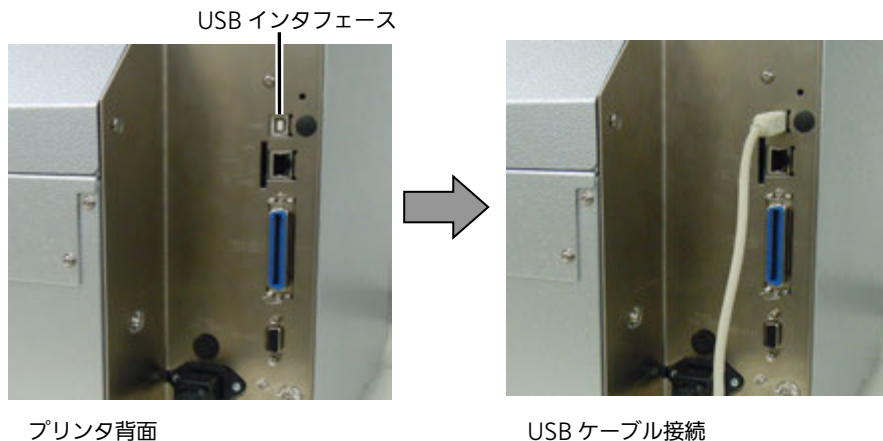
この内容はイメージでバーコードを印刷したときのトラブルを防ぐため、ホームページのサポート情報に注意書きとして掲載しています。

<https://www.sato.co.jp/support/printer/notes.html>

- ヘッドチェックはヘッド断線の目安であり、バーコード読取りを保証する機能ではありません。  
定期的にバーコードの読取りチェックをお願いします。

## USB インタフェース接続

プリンタの USB インタフェースに USB ケーブルを接続してください。



- USB 接続の場合、使用するプリンタドライバをコンピュータにインストールするまでは、USB ケーブルを接続した状態で、本プリンタの電源を入れしないでください。プリンタドライバがインストールされていない状態で本プリンタの電源を入れると Windows の Plug & Play が実行され、標準の USB ドライバをインストールするメッセージが表示されますのでキャンセルしてください。プリンタドライバのインストール方法は25ページ以降をご覧ください。
- USB ケーブルは、2メートル以内のケーブルを推奨しています。

## LAN インタフェース接続

プリンタの電源が切れているときにインタフェースケーブルを接続してください。  
プリンタの LAN インタフェースに LAN ケーブルを接続してください。

LAN インタフェース



プリンタ背面



LAN ケーブル接続

LAN インタフェース接続の場合、お客様のネットワーク環境に合わせた通信条件設定が必要です。

本プリンタの LAN の設定をしてください。

本プリンタの LAN の設定は、<https://www.sato.co.jp/support/> から本プリンタを選択し、コンピュータの OS に合わせてダウンロードした、「プリンタ設定ツール」を使って設定します。プリンタ設定ツールの使用方法は、13ページ以降をご覧ください。

また、プリンタの設定モードメニュー画面の「通信設定」からも設定ができます。通信設定については、取扱説明書をご覧ください。

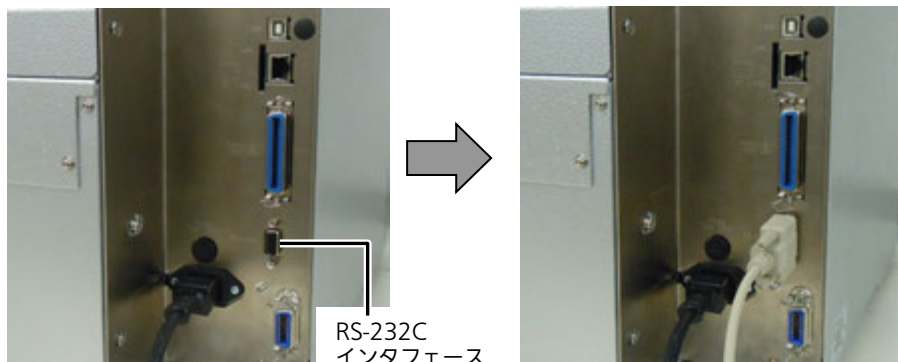
- プリンタ設定ツールを使うと、コンピュータからプリンタの IP アドレスなどの設定や、設定内容の表示・印刷確認ができます。

## LAN インタフェース仕様

- ・10BASE-T/100BASE-TX は自動認識します。
- ・プロトコルは、TCP/IP をサポートしています。
- ・全二重/半二重は自動認識します。

## RS-232C インタフェース接続

プリンタの電源が切れているときにインタフェースケーブルを接続してください。  
プリンタの RS-232C インタフェースに RS-232C ケーブルを接続してください。



プリンタ背面

RS-232C ケーブル接続

- RS-232C ケーブルは、必ず推奨品の RS-232C ケーブルをお使いください。

### ケーブル結線図

プリンタ DB-9P		ホスト DB-9P	
1	CD	1	CD
2	RD	3	SD
3	SD	2	RD
4	ER	6	DR
5	SG	5	SG
6	DR	4	ER
7	RS	8	CS
8	CS	7	RS

- RS-232C インタフェースの詳細については、お客さまヘルプデスク、または弊社営業担当にお問い合わせください。
- コンピュータとの通信設定がっていると正常動作しません。通信エラーになります。

設定は、プリンタの設定モードメニュー画面の「通信設定」でおこないます。  
詳しい内容は、取扱説明書をご覧ください。



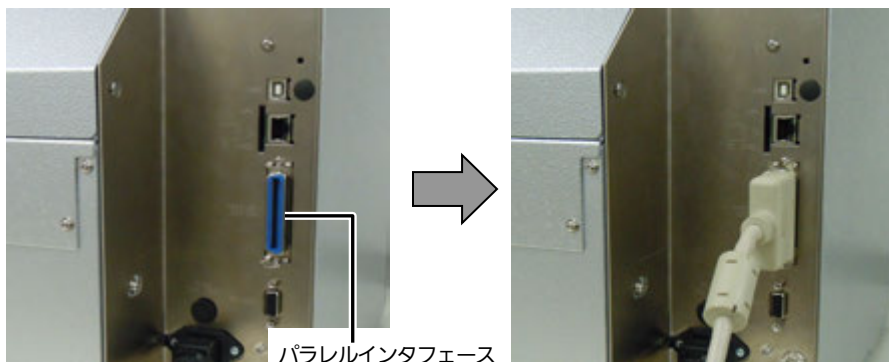
## RS-232C インタフェース仕様

- 通信速度 : 2400bps、4800bps、9600bps、19200bps、38400bps、57600bps、115200bps  
(初期値「19200bps」)
- データ長 : 7 ビット、8 ビット (初期値「8 ビット」)
- ストップビット : 1 ビット、2 ビット (初期値「1 ビット」)
- パリティチェック : 無し、奇数、偶数 (初期値「無し」)
- 通信プロトコル : READY/BUSY、XON/XOFF、ステータス2、ステータス3、ステータス4、ステータス5
  - SG400R-ex シリーズの初期値「ステータス5」
  - SG600R シリーズ、SG112T/R の初期値「ステータス4」

## パラレルインタフェース接続

プリンタの電源が切れているときにインタフェースケーブルを接続してください。

プリンタのパラレルインタフェースにパラレルケーブル（IEEE1284 準拠ケーブル）を接続してください。



プリンタ背面

パラレルケーブル接続

- IEEE1284 準拠ケーブル以外のケーブルを使用される場合、データ化けが発生することがあります。必ず推奨品の IEEE1284 準拠ケーブル（オプション）をお使いください。
- コンピュータによっては、ECP モードの設定をしても ECP 動作をおこなわない機種があります。コンピュータメーカーへお問い合わせください。

## パラレルインタフェース仕様

- ・IEEE1284 準拠：互換モード、ECP モード、ニブルモードをサポートします。
- ※ ECP モードは、コンピュータによってはサポートしていない場合があります。コンピュータのパラレルインタフェース仕様をご確認ください。
- ※ ECP モードは、コンピュータの BIOS 設定でおこないます。コンピュータによっては Windows 上のツール・ソフトを使用することもあります。

## 無線 LAN インタフェース接続

プリンタにアンテナが装着されているか確認してください。



無線 LAN アンテナ

プリンタ背面

プリンタドライバは、専用 SOCKET インタフェースを使用してデータ通信をおこないません。

無線 LAN インタフェース接続の場合、お客様のネットワーク環境に合わせた通信条件設定が必要です。

本プリンタの IP アドレスを設定してください。

本プリンタの IP アドレスは、プリンタの設定モードメニュー画面の「通信設定」から設定ができます。通信設定については、取扱説明書をご覧ください。

- そのほかの無線 LAN 設定は、プリンタ設定ツールで設定してください。設定方法は22ページをご覧ください。
- Atheros SuperG、XR 機能には対応していません。

## 無線 LAN インタフェース仕様

規格	IEEE802.11b/g/n 準拠
通信速度	自動切替
IEEE802.11b	11/5.5/2/1Mbps
IEEE802.11g	54/48/36/24/18/12/11/9/6/5.5/2/1Mbps
IEEE802.11n	最大 150Mbps
通信距離	通信距離は、使用環境により変動します
通信モード	Infrastructure/ Ad Hoc
通信チャネル	
Infrastructure	1～13
Ad Hoc	1～13 (IEEE802.11b/g のみ対応) (初期値 6)
認証方式	Open System Shared Key WPA WPA2 IEEE802.1x 認証 (LEAP、EAP-TLS、EAP-TTLS、EAP-PEAP、EAP-FAST)
暗号方式	なし WEP (Open System、Shared Key、802.1x) TKIP (WPA-PSK/WPA2-PSK、WPA-802.1x/WPA2-802.1x) AES (WPA-PSK/WPA2-PSK、WPA-802.1x/WPA2-802.1x)

プロトコルは、TCP/IP をサポートしています。

## 認証方式と暗号化方式の組合せ

### Ad Hoc モード

ネットワーク認証	暗号化方式
Open System	なし/WEP
Shared Key	WEP

### Infrastructure モード

ネットワーク認証	認証モード	暗号化方式
Open System	LEAP	なし/WEP
	TLS	なし/WEP
	TTLS	なし/WEP
	PEAP	なし/WEP
	FAST	なし/WEP
Shared Key	—	WEP
WPA/WPA2	PSK	TKIP/AES
	EAP-TLS	
	EAP-LEAP	
	EAP-TTLS	
	EAP-PEAP	
	EAP-FAST	

## 3. LAN インタフェース設定

※本書のプリンタドライバのプロパティ画面は、Windows 8 を使用しています。

お使いの OS によっては画面構成が異なる場合がありますが、機能は共通となります。

プリンタ設定ツールを使ってLANインタフェースを設定します。

LANインタフェースの設定は、プリンタの設定モードメニュー画面の「通信設定」からも設定ができます。通信設定については、取扱説明書をご覧ください。

### ①本プリンタを確認します

プリンタにLANケーブルを接続し、プリンタの電源を入れてください。

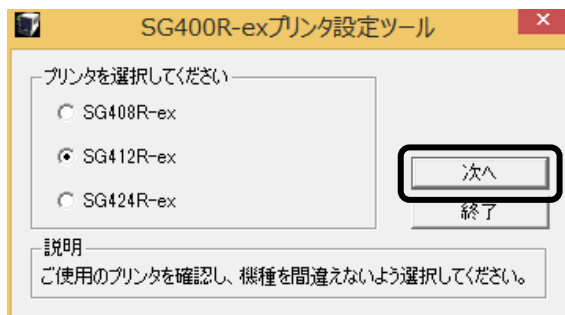
プリンタのLANインタフェースのLINK LED が点灯しているか確認してください。

### ②プリンタ設定ツールを起動します

1. <https://www.sato.co.jp/support/> から本プリンタを選択し、コンピュータのOSに合わせて「プリンタ設定ツール」をダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイルを解凍します。
3. Applnst.exe を実行して、インストーラーを起動します。
4. ユーザーアカウント制御メッセージが表示されますので、「はい (Y)」をクリックします。
5. 「ソフトウェア使用許諾契約書」を読んで同意していただけたら、「インストール」を選び、「次へ」 ボタンをクリックします。
6. 「プリンタ設定ツールをインストール」を選び、「OK」 ボタンをクリックします。
7. インストール後「OK」 ボタンをクリックし、コンピュータを再起動してください。
8. 「プリンタ設定ツール」 が起動します。

## 9. プリンタ選択画面が開きます。

プリンタを選び、「次へ」ボタンをクリックします。

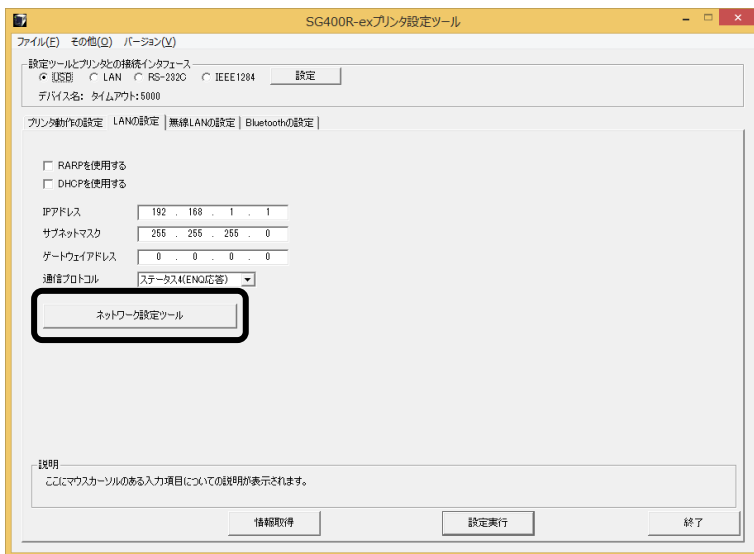


## 10. プリンタ設定ツール画面が開きます。

「LAN の設定」タブを開きます。



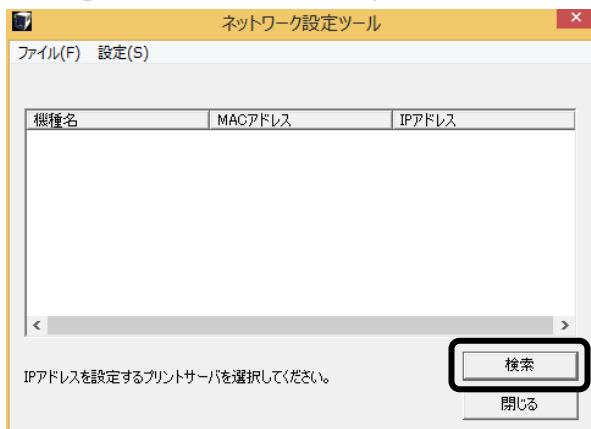
## 11. 「ネットワーク設定ツール」 ボタンをクリックします。





### ③プリンタに IP アドレスを設定します

1. 「検索」 ボタンをクリックします。



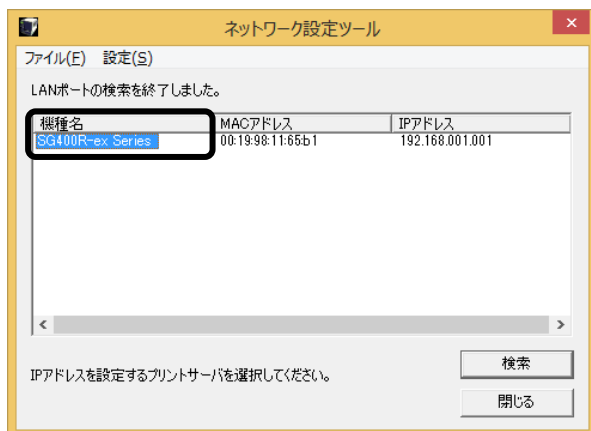
2. 検索されたプリンタの一覧を表示します。



**注意** 検索されない場合は、再度「検索」ボタンをクリックしてください。  
また、以下のことを確認してください。

- プリンタの電源が入っていることを確認してください。
- LAN インタフェースの LINK LED が点灯していることを確認してください。
- ご使用のコンピュータとプリンタがネットワーク環境に接続されているか確認してください。
- コンピュータとプリンタを LAN クロスケーブルで直接つなぐか、ハブのカスケードを外して、ローカルの LAN 環境にしてください。
- ご使用のコンピュータが、Windows ファイアウォールの設定が有効の場合、検索ができない場合があります。その際には、無効にしてください。

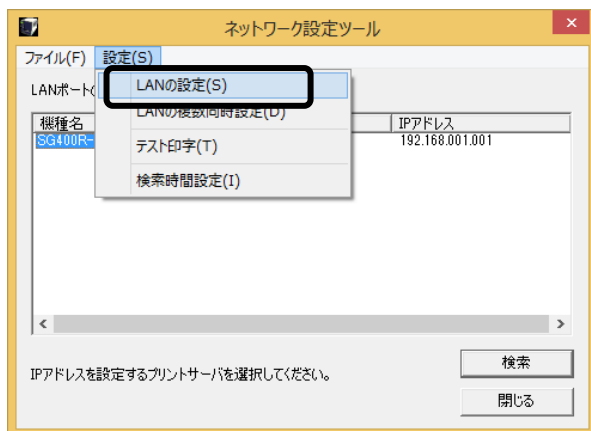
### 3. 設定するプリンタをクリックします。



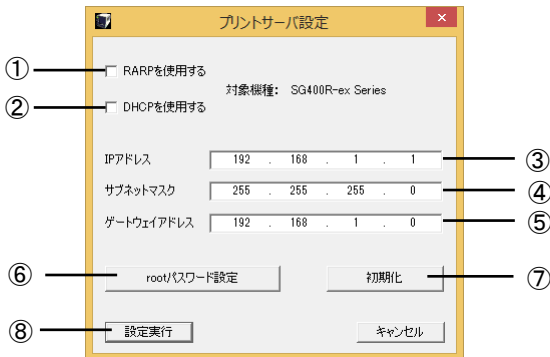
**注意** 画面は LAN インタフェースプリンタを検索した場合です。  
LAN インタフェースプリンタを検索した場合、機種名表示が「SG400R-ex Series」になります。

### 4. プリンタの IP アドレスなどの LAN の設定をします。

「設定 (S)」メニューから「LAN の設定 (S)」をクリックします。

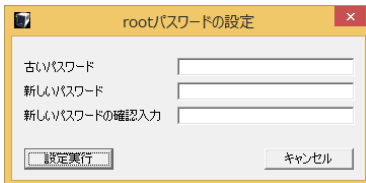


## 5.LAN の設定をします。



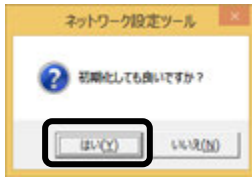
- 注意** LAN 設定の初期値は、
- ・ RARP、DHCP は、「無効」
  - ・ IP アドレスは、192.168.1.1
  - ・ サブネットマスクは、255.255.255.0
  - ・ ゲートウェイアドレスは、0.0.0.0
  - ・ root パスワードは、無しになっています。

- ① 「RARP を使用する」のチェックボックスにチェックすると、RARP プロトコルが有効になります。RARP サーバーによって IP アドレスが設定されますので、③に入力した IP アドレスは無効になります。  
IP アドレスを手動で設定する場合、「RARP を使用する」のチェックを外してください。
- ② 「DHCP を使用する」のチェックボックスにチェックすると、DHCP サーバーから割り当てられる IP アドレスを有効とします。  
DHCP サーバーから割り当てられる IP アドレスを有効とするため、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定はできません。  
IP アドレスなどを設定する場合、「DHCP を使用する」のチェックを外してください。
- ③ 「IP アドレス」の指定ができます。
- ④ 「サブネットマスク」の指定ができます。
- ⑤ 「ゲートウェイアドレス」の指定ができます。
- ⑥ 「root パスワード設定」の入力になります。

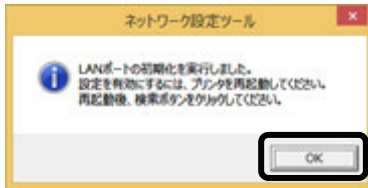


任意の英数文字列を最大 16 文字設定できます（初期値は、無し）。  
パスワードを設定するためには、「古いパスワード」、「新しいパスワード」、「新しいパスワードの確認入力」のすべての入力が必要です。

- ⑦ 「初期化」をクリックすると、LAN 設定を初期値に設定します。

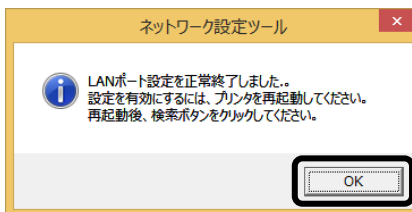
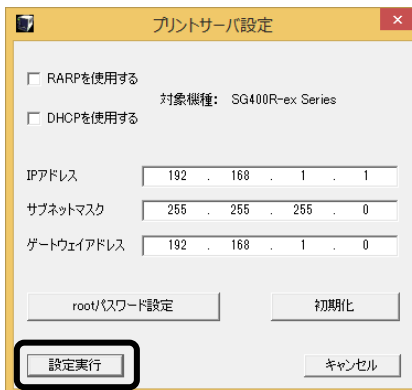


「はい (Y)」ボタンをクリックすると、LAN 設定を初期化します。



LAN 設定の初期化後、「OK」ボタンをクリックし、プリンタを再起動してください。

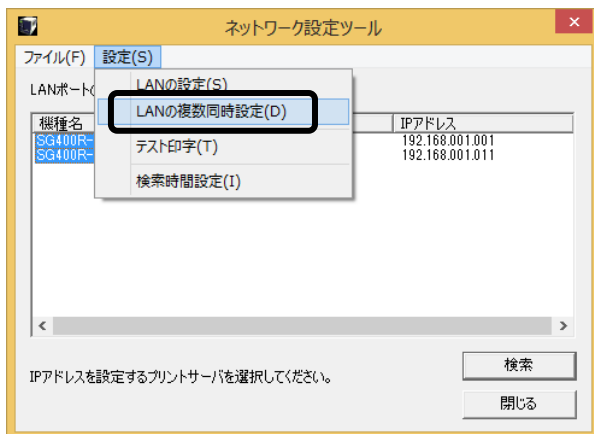
- ⑧ IP アドレスなどの LAN 設定を入力し、「設定実行」ボタンをクリックすると、LAN 設定を登録します。



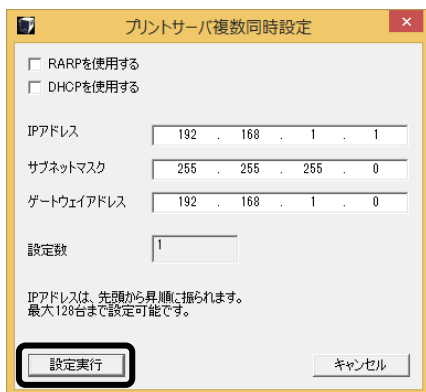
LAN 設定の登録を完了すると、「LAN ポート設定を正常終了しました。設定を有効にするには、プリンタを再起動してください。」のメッセージが表示されます。

「OK」ボタンをクリックしてメッセージ画面を閉じます。プリンタを再起動してください。

6. 複数のプリンタの LAN 設定を同時に設定します。  
「設定 (S)」メニューから「LAN の複数同時設定 (D)」をクリックします。



- 検索した LAN インタフェースすべての LAN 設定をおこないます。  
IP アドレスは、入力した IP アドレスから昇順で割り振られます。  
「設定実行」ボタンをクリックし、複数同時 LAN 設定をおこないます。



### ヒント

2 台のプリンタに LAN ポート複数同時設定をおこなう場合、IP アドレスに「192.168.1.1」を設定すると、下記の設定になります。

1 台目 「192.168.1.1」

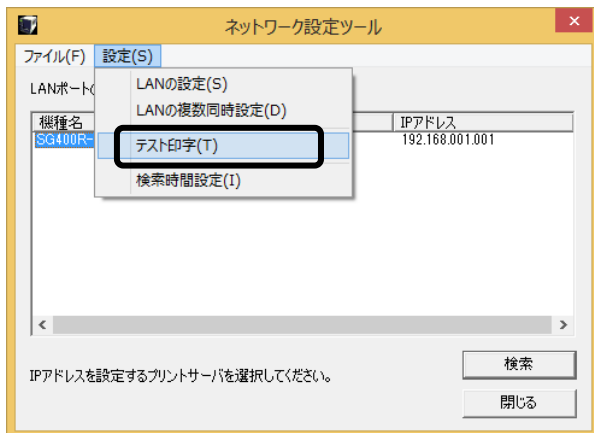
2 台目 「192.168.1.2」

IP アドレス以外の設定は、すべて同じ設定になります。

7. LAN 設定の登録完了後、プリンタを再起動してください。

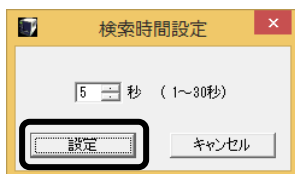
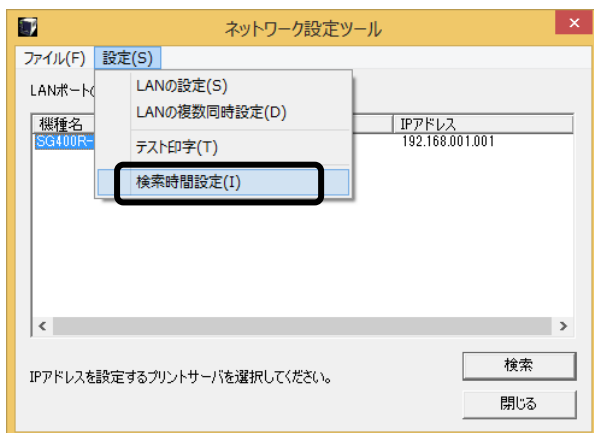
**注意** 無線 LAN インタフェースへの複数同時設定をおこなうことはできません。

8. LAN の設定を確認する場合は、テスト印字をします。  
「設定 (S)」メニューから「テスト印字 (T)」をクリックします。



プリンタインタフェース設定のテスト印字をおこないます。  
LAN インタフェースの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、DHCP、RARP などの各設定内容を印字します。

9. プリンタの検索ができない場合は、検索時間を設定してください。  
「設定 (S)」メニューから「検索時間設定 (I)」をクリックします。



プリンタの検索時間を入力し、「設定」ボタンをクリックします。

## 4. 無線 LAN インタフェース設定

プリンタ設定ツールを使って、無線 LAN インタフェースの IP アドレスなどの通信設定をします。

無線 LAN インタフェースの設定をする前に、プリンタとコンピュータを USB ケーブルや LAN ケーブルなど、無線 LAN 以外のインタフェースで接続してください。

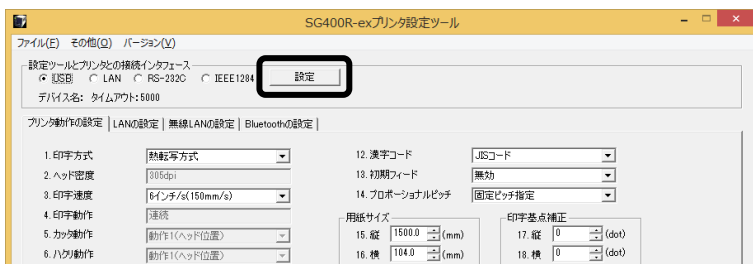
### お知らせ

- 無線 LAN インタフェースの工場出荷状態（初期値）は、下記のとおりです。

無線 LAN インタフェースの初期値	
無線モード	Ad Hoc
通信チャンネル	6
SSID	SATO_PRINTER
セキュリティ	なし
IP アドレス	192.168.1.1
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	192.168.1.2

- 無線 LAN 接続の場合、お客様のネットワーク環境に合わせた通信条件設定が必要です。詳しくはネットワーク管理者に相談してください。

- プリンタ設定ツールを起動します。  
プリンタ設定ツールの起動方法については、13ページをご覧ください。
- ここでは、プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続した場合を例にしています。  
「設定ツールとプリンタとの接続インタフェース」の「USB」を選択し、「設定」ボタンをクリックします。  
そのほかの接続インタフェースの設定に関する詳細は、  
<https://www.sato.co.jp/support/> から本プリンタを選択し、「プリンタ設定ツール説明書」をダウンロードして、ご確認ください。



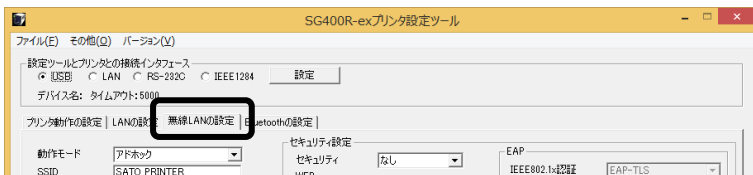
3. 「USB 検索」 ボタンをクリックします。



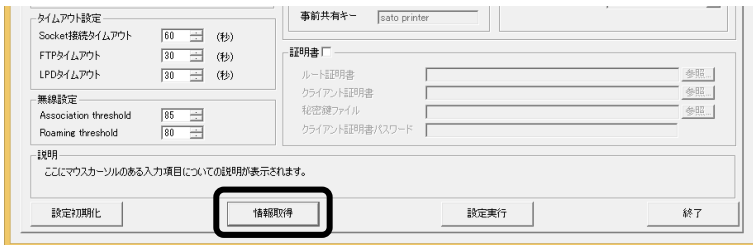
4. 「デバイス名称」に通信に使用可能なデバイスドライバが表示されます。「設定」ボタンをクリックします。



5. 「無線 LAN の設定」タブを開きます。



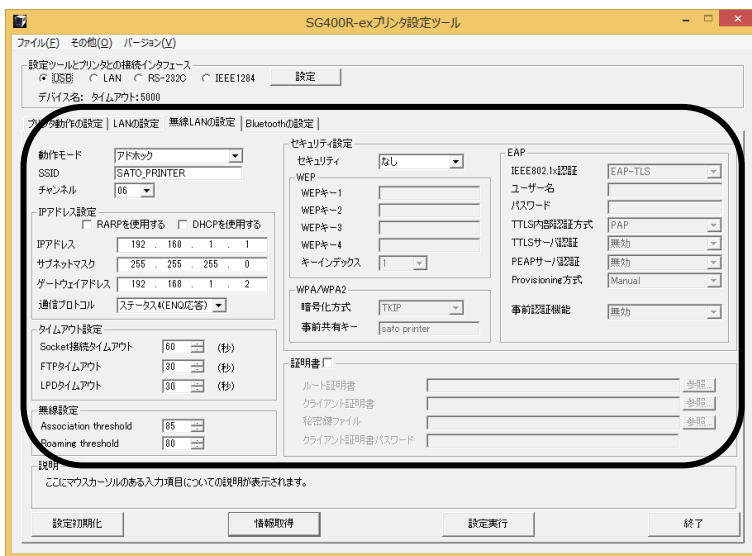
6. 「情報取得」をクリックし、現在プリンタに設定されている値を取得します。





7. 必要に応じて無線 LAN の設定を選択、入力します。

各設定項目について詳しくは、<https://www.sato.co.jp/support/> から本プリンタを選択し、「プリンタ設定ツール説明書」をダウンロードして、ご確認ください。



8. 設定が完了したら、「設定実行」をクリックします。

9. メッセージに従いプリンタを再起動します。

**注意** 無線 LAN の設定はプリンタ再起動時に無線 LAN モジュールに反映されます。プリンタを再起動するまでは無線 LAN モジュールの設定値は変更されません。

無線 LAN 設定を初期化する場合は、「設定初期化」をクリックし、メッセージに従いプリンタを再起動してください。インストール作業を始める前に使用中のアプリケーションはすべて終了してください。

## 5. プリンタドライバのインストール方法（USB）

※ USB 以外のドライバのインストールは29ページ以降をご覧ください。

**注意** インストール作業を始める前に使用中のアプリケーションはすべて終了してください。

プリンタの電源をオフにし、USB ケーブルをコンピュータに接続します。プリンタドライバのセットアップ、プロパティ設定、印刷設定をおこなう場合は、Administrator 権限ユーザーでログインしてください。プリンタドライバを使用する場合は、双方向通信を有効にしてご使用ください。

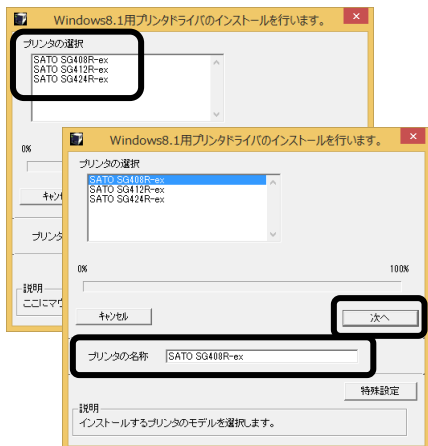
複数台のプリンタをご使用になる場合は、個々のプリンタを識別するために台数分のプリンタドライバをインストールする必要があります。

**注意** 1 台目のプリンタドライバをインストール後、2 台目以降のプリンタを接続してプリンタの電源を入れると、自動的にプリンタドライバがインストールされます。

※本書のプリンタドライバのプロパティ画面は、Windows 8.1 を使用しています。お使いの OS によっては画面構成が異なる場合がありますが、機能は共通となります。

- ① プリンタの電源が切れていることを確認して、Windows を起動します。
- ② <https://www.sato.co.jp/support/> から本プリンタを選択し、コンピュータの OS に合わせて「プリンタドライバ」をダウンロードします。
- ③ ダウンロードしたファイルを解凍します。
- ④ PrnInst.exe を実行して、インストーラーを起動します。

- ⑤ユーザーアカウント制御メッセージが表示されますので、「はい (Y)」をクリックします。
- ⑥「ソフトウェア使用許諾契約書」を読んで同意していただけたら、「インストール」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。
- ⑦使用するプリンタを選び、「次へ」ボタンをクリックします。



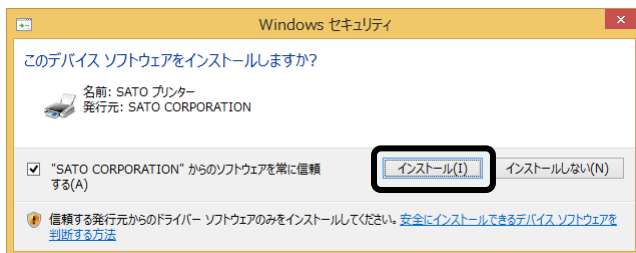
**(1) 【プリンタの選択】**

インストールするプリンタを選びます。

**(2) 【プリンタの名称】**

プリンタドライバの名称を入力できます。

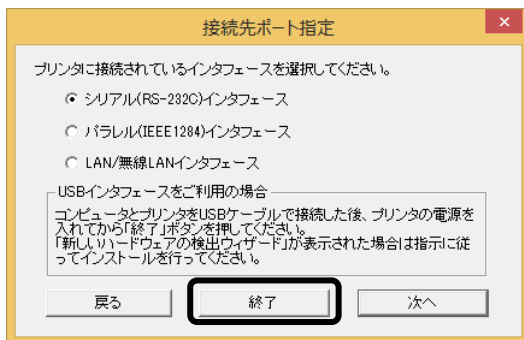
- ⑧「Windows セキュリティ」画面が表示されます。「インストール(I)」を選びます。  
(お使いの OS によってはメッセージ内容が異なる場合があります。)



⑨ 「接続先ポート指定」画面が表示されます。

「終了」ボタンをクリックします。

※ コンピュータとプリンタを USB ケーブルで接続した後、プリンタの電源を入れてから「終了」ボタンをクリックしてください。



⑩ プリンタの電源を入れます。

自動的にインストールを開始します。

以上でプリンタドライバのインストールは完了です。

- ⑪インストール確認後、「デバイスとプリンター」フォルダーを開き、プリンタがインストールされていることを確認してください。



※お使いのコンピュータによっては、「デバイスとプリンター」の「プリンター」部分にアイコンが表示されない場合があります。

## 6. プリンタドライバのインストール方法（USB 以外）

※ 本書のプリンタドライバのプロパティ画面は、Windows 8.1 を使用しています。  
お使いの OS によっては画面構成が異なる場合がありますが、機能は共通となります。

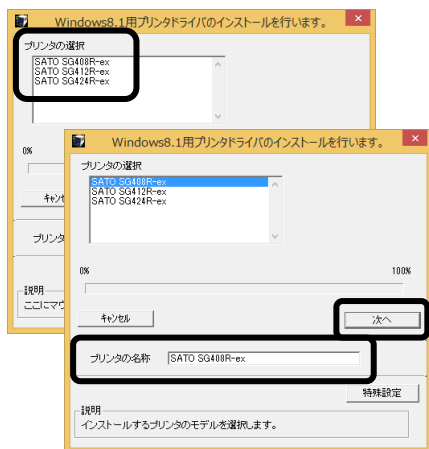
**注意** インストール作業を始める前に使用中のアプリケーションはすべて終了してください。

プリンタの電源を切り、インタフェースケーブルをコンピュータと接続します。プリンタドライバのセットアップ、プロパティ設定、印刷設定をおこなう場合、Administrator 権限ユーザーでログインしてください。

プリンタドライバを使用する場合は、双方向通信を有効にご利用ください。Windows Server OS でリモートデスクトップサービスが起動している場合は、リモートデスクトップサービスをインストールモードにしてください。ただし、リモートデスクトップサービス環境下でのプリンタドライバの動作は保証しておりません。

- ① プリンタの電源が切れていることを確認して、Windows を起動します。
- ② <https://www.sato.co.jp/support/> から本プリンタを選択し、コンピュータの OS に合わせて「プリンタドライバ」をダウンロードします。
- ③ ダウンロードしたファイルを解凍します。
- ④ PrnInst.exe を実行して、インストーラーを起動します。
- ⑤ ユーザーアカウント制御メッセージが表示されますので、「はい (Y)」をクリックします。
- ⑥ 「ソフトウェア使用許諾契約書」を読んで同意していただけたら、「インストール」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。

## ⑦使用するプリンタを選び、「次へ」ボタンをクリックします。



プリンタドライバをインストールすると同時にプリンタ設定ツールがインストールされます。

### 【プリンタの選択】

インストールするプリンタを選びます。

### 【プリンタの名称】

プリンタドライバの名称を入力できます。

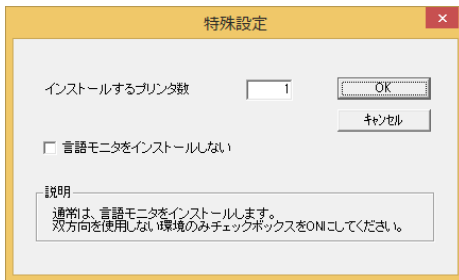
※ 複数のプリンタドライバをインストールする場合は、「特殊設定」ボタンをクリックします。

## プリンタ設定ツール

プリンタ設定をおこなうアプリケーションソフトです。

プリンタの設定を変更する場合に必要になります。

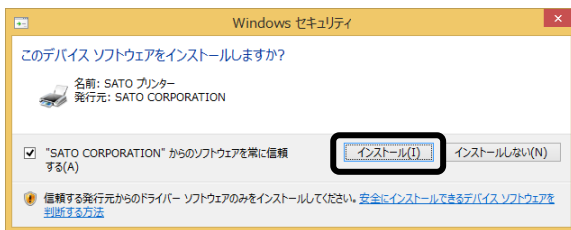
詳細は、<https://www.sato.co.jp/support/> から本プリンタを選択し、「プリンタ設定ツール説明書」をご覧ください。



### 【特殊設定】

- インストールするプリンタ数  
プリンタドライバを複数インストールする場合、インストールするプリンタ数を入力します。
- 言語モニタをインストールしない  
双方向サポートを使用しない場合、チェックボックスをチェックします。

- ※ 下記の Windows セキュリティメッセージが表示されます。  
「インストール (I)」をクリックして、プリンタドライバをインストールしてください。（お使いの OS によってはメッセージ内容が異なる場合があります。）



- ご使用のインタフェースに合わせて以下のページをご覧ください。

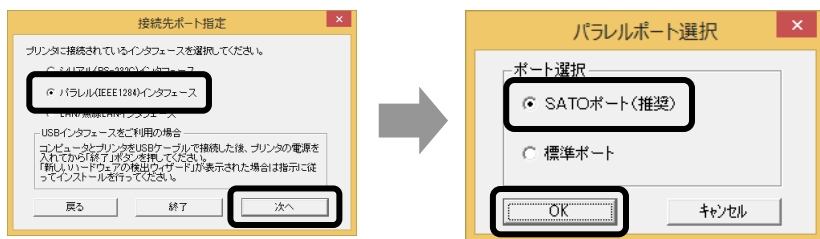
- パラレルインタフェース (32ページ)
- RS-232C インタフェース (33ページ)
- LAN/無線 LAN インタフェース (34ページ)

- ※ LPT ポート、USB ポートの接続の場合、「新しいハードウェアが見つかりました」の画面が表示されることがあります。そのときは、画面の右上の「×」、または「キャンセル」ボタンをクリックして画面を閉じてください。

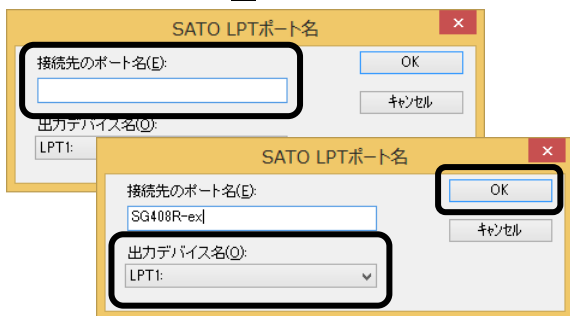


## パラレルインタフェースのインストール

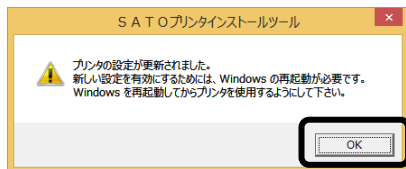
- ⑧ 「パラレル (IEEE1284) インタフェース」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。  
「SATO ポート (推奨)」を選び、「OK」ボタンをクリックします。



- ※ 「標準ポート」を選び、「OK」をクリックすると⑩に移行しインストールが完了します。
- ※ 標準ポートは「LPT1」でインストールします。  
標準ポートは、双方向通信をおこなわない場合に指定します。  
標準ポートの「LPT1」以外で接続するときは、ドライバのセットアップ完了後に、プリンタドライバのプロパティ画面で出力ポートを変更してください。
- ⑨ 「接続先のポート名 (E)」に任意のポート名を入力します。  
「出力デバイス名 (O)」を選び、「OK」ボタンをクリックします。



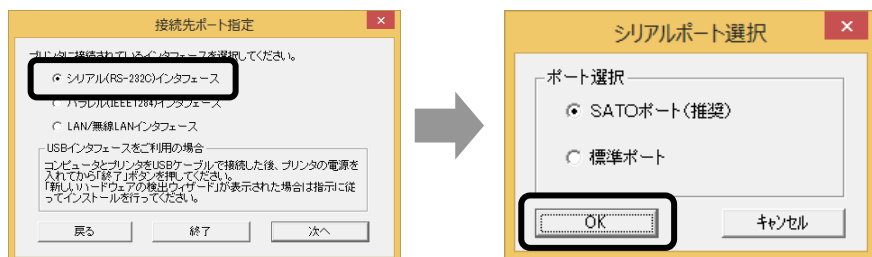
- ⑩ 「OK」ボタンをクリックします。以上でプリンタドライバのインストールは完了です。



- ⑪ プリンタをパラレルインタフェースに接続し、プリンタの電源を入れます。

## RS-232C インタフェースのインストール

- ⑧ 「シリアル (RS-232C) インタフェース」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。  
「SATO ポート (推奨)」を選び、「OK」ボタンをクリックします。

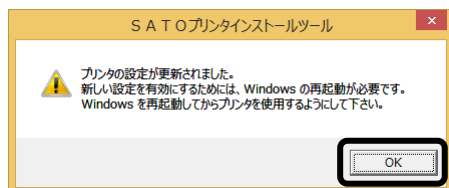


- ※ 「SATO ポート (推奨)」を選び、「OK」ボタンをクリックすると⑨に進みます。
- ※ 「標準ポート」を選び、「OK」ボタンをクリックすると⑩に進みインストールが完了します。
- ※ 標準ポートは「COM1」でインストールします。  
標準ポートは、双方向通信をおこなわない場合に指定します。  
標準ポートの「COM1」以外で接続するときは、ドライバのセットアップ完了後に、プリンタドライバのプロパティ画面で出力ポートを変更してください。

- ⑨ 「接続先のポート名 (E)」に任意のポート名を入力します。  
「出力デバイス名 (O)」を選び、「OK」ボタンをクリックします。

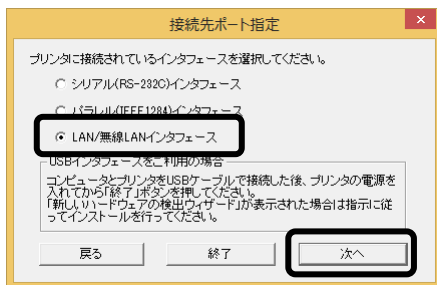


- ⑩ 「OK」ボタンをクリックします。以上でプリンタドライバのインストールは完了です。  
Windows を再起動して、プリンタドライバとプリンタが接続されているかを確認してください。



## LAN/無線 LAN インタフェースのインストール

- ⑧ 「LAN/無線 LAN インタフェース」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。

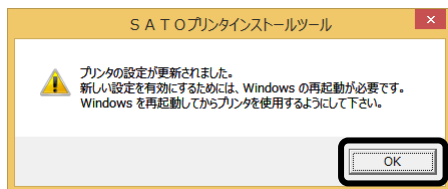


- ⑨ 「接続先のポート名 (E)」に任意のポート名を入力します。  
「出力プリントサーバ (O)」にプリンタの IP アドレスを入力します。  
「OK」ボタンをクリックします。



- ⑩ 「OK」ボタンをクリックします。以上でプリンタドライバのインストールは完了です。

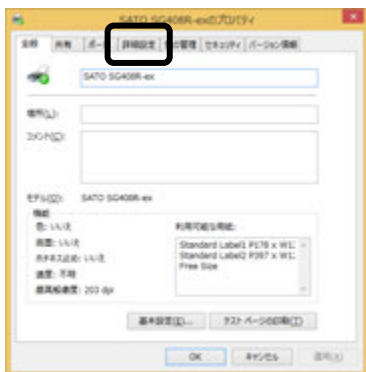
Windows を再起動して、プリンタドライバとプリンタが接続されているか確認してください。



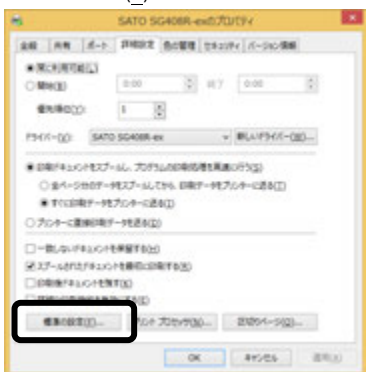


▲全ユーザーのプリンタドライバの設定をするときは、「標準の設定」を使用します。  
新規追加したユーザーのドライバの設定は、「標準の設定」の値が初期値になります。

3. 「詳細設定」タブを選びます。



4. 「標準の設定(F)...」ボタンをクリックします。



5. プリンタドライバの設定シートが開きます。



▲個別ユーザーのみのプリンタドライバを設定するときは、「基本設定(E)...」を使用します。

3. 「基本設定(E)...」 ボタンをクリックします。

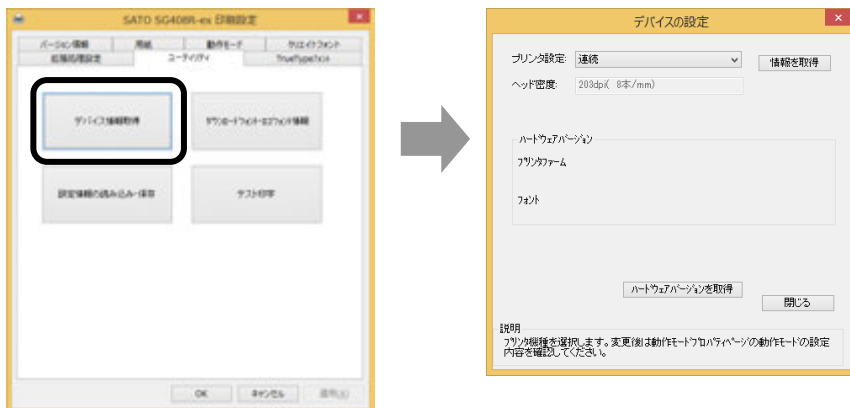


4. プリンタドライバの設定シートが開きます。



## ②プリンタの状態を取得します

1. 「ユーティリティ」タブを選び、「デバイス情報取得」ボタンをクリックします。



2. プリンタの電源を入れてください。

3. 「情報を取得」ボタンをクリックしてください。

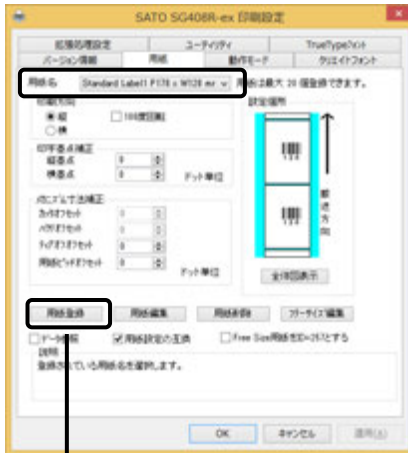
本プリンタで指定しているプリンタ情報を取得し、「プリンタ設定」の欄に表示します。プリンタ設定のリストボックスにて、プリンタ動作を選び設定できます。

### ③用紙を選びます

1. 「用紙」タブを選びます。



2. 「用紙名」▼ をクリックして、表示されるリストから目的の用紙を選んでください。



「用紙名」には数種類の標準ラベルがあらかじめ登録されています。

<SG400R-ex シリーズ>

標準ラベル1 P178×W128(mm)

標準ラベル2 P397×W128(mm)

<SG600R シリーズ>

標準ラベル1 P239×W180(mm)

標準ラベル2 P400×W180(mm)

<SG112T/R>

標準ラベル1 P300×W266(mm)

標準ラベル2 P50×W258(mm)

JAMA (L) P105×W276(mm)

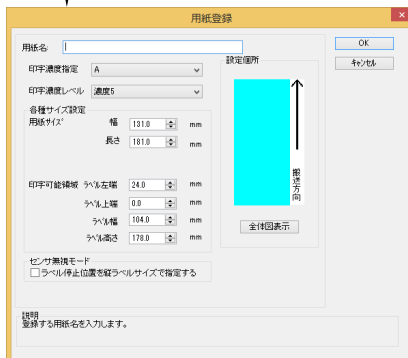
JAMA (M) P85×W276(mm)

JAMA (S) P70×W276(mm)

※ 標準ラベル以外の用紙を使用するときは「用紙登録」ボタンをクリックして新たに用紙を登録します。

「用紙登録」に関する詳細は、

<https://www.sato.co.jp/support/> から本プリンタを選択し、「プリンタドライバ説明書」をダウンロードして、「1.6用紙 (SG400R-ex)」、 「1.7用紙 (SG112T/R)」をご確認ください。



### ヒント

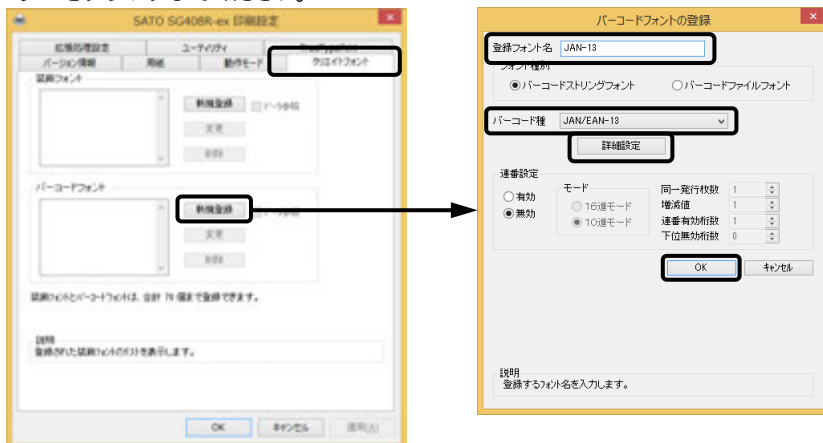
ここで選んだ用紙がアプリケーションソフトで通常使用する用紙に設定されます。アプリケーションソフトによっては、あらかじめアプリケーションソフトの用紙選択機能において用紙を選ぶ必要があるものもあります。アプリケーションソフトの用紙選択機能に関しては、アプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。



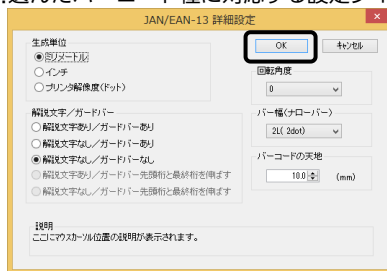
#### ④バーコードを印字するには

バーコードを印字するには、まず印字するバーコードの設定を「バーコードフォント」として登録する必要があります。その結果アプリケーションソフトからは、登録したバーコードフォントをフォント種として呼び出すことができます。以下に「バーコードフォント」の登録手順を示します。

1. 「クリエイティブフォント」タブを選び、「バーコードフォント」グループの「新規登録」ボタンをクリックしてください。



2. 「登録フォント名」に、登録するバーコードフォントの名称を入力してください。
3. 「バーコード種」▼をクリックして、表示されるリストから、登録するバーコード種を選び、「詳細設定」ボタンをクリックしてください。
4. 選んだバーコード種に対応する設定ダイアログを表示します。



※ ここでは例として「JAN/EAN-13」の設定をしています。

5.設定が終了したら「OK」ボタンをクリックしてください。ひとつ前のダイアログに戻りますので、もう一度「OK」ボタンをクリックしてください。

以上の手順でバーコードフォントを登録することにより、アプリケーションソフトからバーコードを印字することが可能になります。

- ※ 使用するアプリケーションによっては、プリンタドライバで設定した装飾フォント・バーコードフォントが印字できない場合があります。
- ※ 「クリエイトフォント」シートに関する詳細は、<https://www.sato.co.jp/support/> から本プリンタを選択し、「プリンタドライバ説明書」をダウンロードして、「1.12 クリエイトフォント」をご確認ください。

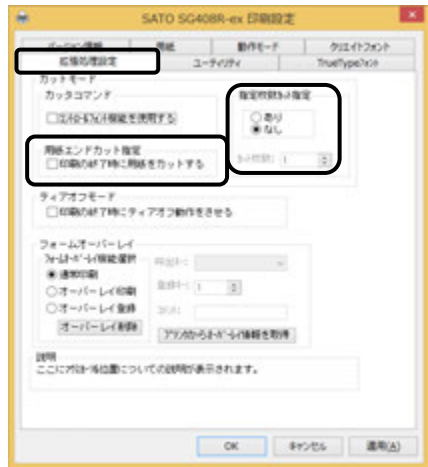
## ⑤プリンタ動作を設定します

1. 「動作モード」タブを選びます。
2. 「印字速度」▼をクリックして、表示されるリストから印字速度を選びます。



## ⑥カッター付プリンタをご使用の場合は

1. 「拡張処理設定」タブを選びます。
2. 一定枚数ごとにラベルをカットする場合は「指定枚数カット指定」を「あり」にして、「カット枚数」を設定します。
3. 印刷終了ごとにラベルをカットする場合は「印刷の終了時に用紙をカットする」チェックボックスにチェックを入れます。



※「拡張処理設定」タブに関する詳細は、<https://www.sato.co.jp/support/> から本プリンタを選択し、「プリンタドライバ説明書」をダウンロードして、「1.11 拡張処理設定」をご確認ください。

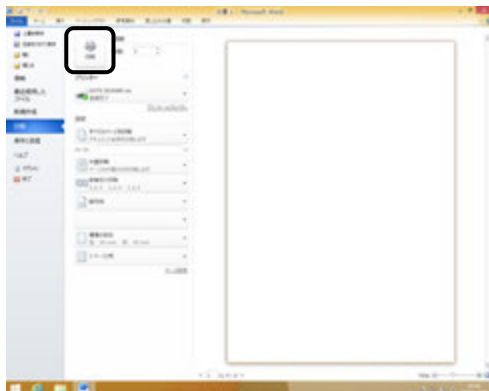
## ⑦設定が終わったら、プリンタドライバの設定シートを閉じます

設定シートの「OK」ボタンをクリックしてください。



## ⑧ラベル発行を開始します

印刷の開始方法はアプリケーションソフトによって多少異なりますが、一般的には「ファイル (F)」メニューから「印刷」を選んだときに表示される「印刷」ボタンや「OK」ボタンをクリックすることで実行されます。ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書も併せてご覧ください。



## ヒント

印刷を実行する前に、アプリケーションソフトが使用するプリンタドライバが、ご使用のプリンタにあったドライバに設定されているか確認してください。ドライバの設定方法はアプリケーションソフトによって多少異なります。一般的には、「ファイル (E)」メニューから「印刷 (P)」を選んだときに表示されるダイアログ中にある「プリンタ名 (N)」をクリックし、表示されるリストから目的のものを選ぶことで設定できます。

また、アプリケーションソフトによっては「③用紙を選びます」で選んだ用紙を使用するために、アプリケーションソフトの用紙選択機能において、あらためて用紙を選ぶ必要があるものもあります。

※ 弊社ソフトウェア (Multi LABELIST) を使用した場合、プリンタドライバの設定ではなく、弊社ソフトウェアの設定が有効になります。

## 8. プリンタドライバのアンインストール方法

### お願い

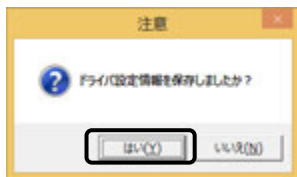
アンインストール作業を始める前に、使用中のアプリケーションは、すべて終了してください。

アンインストールは必ず次の方法でおこなってください。

※ 本書のプリンタドライバのプロパティ画面は、Windows 8.1 を使用しています。  
お使いの OS によっては画面構成が異なる場合がありますが、機能は共通となります。

- ① プリンタの電源が切れていることを確認してください。
- ② <https://www.sato.co.jp/support/> から本プリンタを選択し、コンピュータの OS に合わせて「プリンタドライバ」をダウンロードします。
- ③ ダウンロードしたファイルを解凍します。
- ④ PrnInst.exe を実行して、インストーラーを起動します。
- ⑤ ユーザーアカウント制御メッセージが表示されますので、「はい (Y)」をクリックします。
- ⑥ 「アンインストール」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。

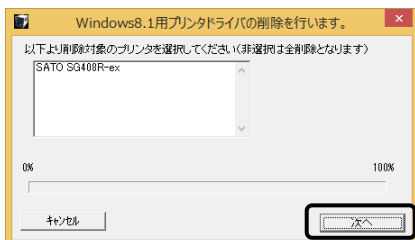
- ⑦ユーティリティでドライバプロパティを保存している場合は、「はい (Y)」 ボタンをクリックします。



### ヒント

アンインストールを実施すると「用紙」、「クリエイトフォント」などの指定した項目が削除されますので、ドライバの「ユーティリティ」の「設定情報の読みだし・保存」にてファイル保存をしてください。保存方法は、46ページをご覧ください。

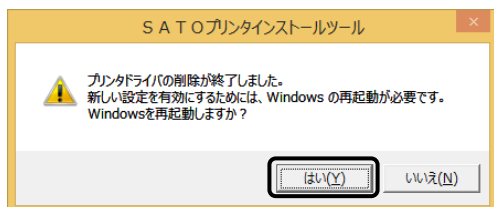
- ⑧プリンタドライバをアンインストール（削除）します。  
プリンタを選ばずにアンインストールすると、表示しているすべてのプリンタドライバを削除します。プリンタを選んでアンインストールすると、選んだプリンタドライバのみ削除します。



### ヒント

アンインストールを実施すると、プリンタドライバをインストールしたときにインストールした、「SATO ポート」、「プリンタ設定ツール」も削除します。

- ⑨「はい (Y)」 ボタンをクリックします。  
必ず Windows を再起動してください。  
以上でプリンタドライバのアンインストールは完了です。

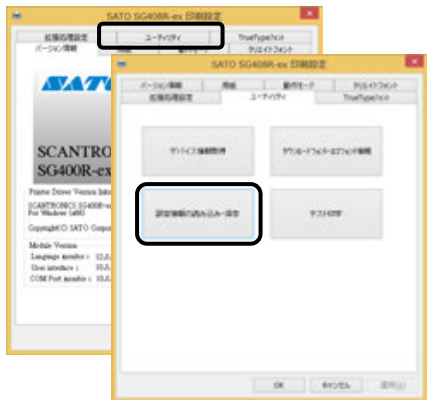


## 9. ドライバ設定情報の保存方法

ドライバ設定情報の保存方法について説明します。

※ 本書のプリンタドライバのプロパティ画面は、Windows 8.1 を使用しています。  
お使いの OS によっては画面構成が異なる場合がありますが、機能は共通となります。

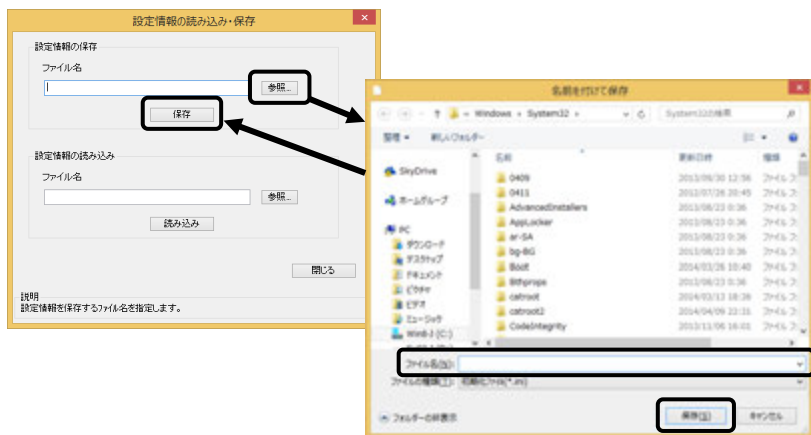
- ① プリンタドライバの「印刷設定」、または「標準の設定」を開き、「ユーティリティ」タブを選び、「設定情報の読み込み・保存」ボタンをクリックします。



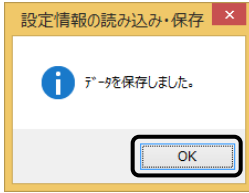
### ヒント

印刷設定を開く方法は36ページをご覧ください。

- ② 「参照...」ボタンをクリックします。「名前を付けて保存」画面を表示します。ファイルの保存先を指定し、ファイル名を入力します。「保存(S)」ボタンをクリックします。「設定情報の読み込み・保存」画面の「保存」ボタンをクリックします。



- ③ 「データを保存しました。」の表示後、「OK」ボタンをクリックします。



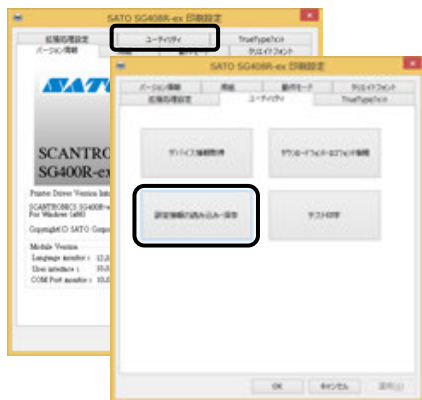


## 10. ドライバ設定情報の読み込み方法

ドライバ設定情報の読み込み方法について説明します。

※ 本書のプリンタドライバのプロパティ画面は、Windows 8.1 を使用しています。  
お使いの OS によっては画面構成が異なる場合がありますが、機能は共通となります。

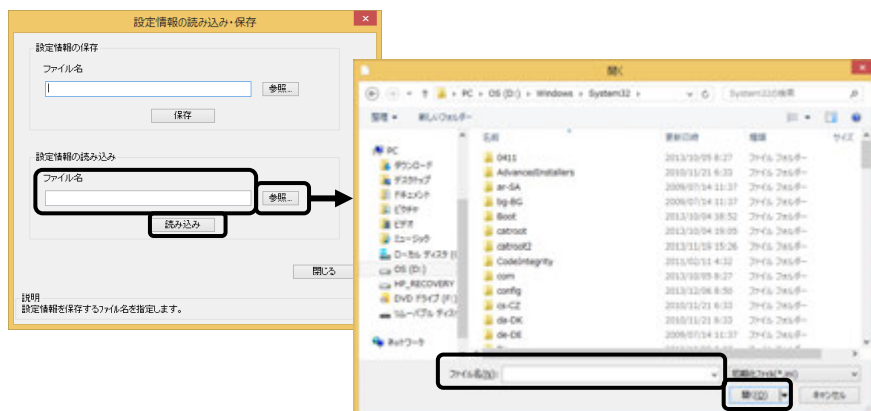
- ① プリンタドライバの「印刷設定」、または「標準の設定」を開き、「ユーティリティ」タブを選び、「設定情報の読み込み・保存」ボタンをクリックします。



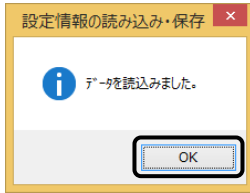
### ヒント

印刷設定を開く方法は36ページをご覧ください。

- ② 「参照…」ボタンをクリックします。「開く」画面を表示します。ファイルを指定して、「開く (O)」をクリックします。「設定情報の読み込み・保存」画面で、「読み込み」ボタンをクリックします。



- ③ 「データを読み込みました。」の表示後、「OK」ボタンをクリックします。

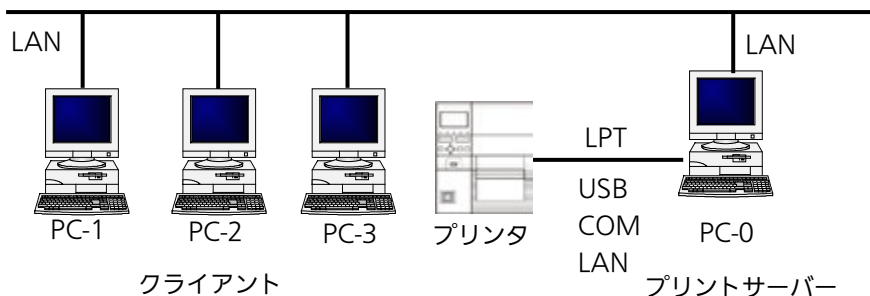


# 11. プリンタドライバ共有機能

プリンタドライバを共有設定で使用する場合のセットアップ手順について説明します。

## 1. 接続形態

接続は、下図のように、1台の PC (PC-0) をプリントサーバーにし、ほかの PC (PC-1、PC-2、PC-3、...) はクライアントとします。また、すべての PC は LAN 接続されており、プリントサーバーとプリンタは LPT (もしくは COM、USB、LAN) で接続します。



## 2. プリンタドライバの設定方法

①プリントサーバー、クライアントともに <https://www.sato.co.jp/support/> から本プリンタを選択し、コンピュータの OS に合わせて「プリンタドライバ」をダウンロードして、プリンタドライバをインストールします。

- 「プリンタ」フォルダの「プリンタ追加」アイコンにて追加した場合、必要なファイルがインストールされず正常動作しないおそれがあります。  
(ネットワークコンピュータ上の共有プリンタアイコンのコピーも同じです。)
- クライアントにプリンタドライバをインストールする場合、SATO ポートではなく標準ポート (LPT、COM) を指定してください。
- プリントサーバーにプリンタドライバをインストールする場合は、SATO ポートを指定してください。

②プリントサーバーのプリンタドライバから正常にラベル発行ができることを確認後、プリンタドライバを「共有」に設定してください。

③クライアント側のプリンタドライバ→「プリンターのプロパティ」→「ポート」→「ポートの追加」→「Local Port」でポートを追加します。

- ④ポート名に「¥¥共有 PC 名¥¥共有プリンタ名」を指定して、出力先ポートをサーバーで設定した共有プリンタに指定します。
- ⑤ドライバ→「プリンターのプロパティ」→「ポート」→「双方向サポートを有効にする」のチェックを外して、クライアント側のプリンタドライバの双方向通信をOFFにします。

### 3. 制限事項

クライアントでは、「双方向通信」を無効設定にしているため、下記の制限事項が生じます。

- ①プリンタで発生した「用紙切れ」、「リボン切れ」などの各種エラーを認識することができません。
- ②「拡張処理設定」タブの「プリンタからオーバーレイ情報を取得」は使用できません。それに伴い「フォームオーバーレイ印刷」も使用できません。
- ③「ユーティリティ」タブの「デバイスの設定」タブの「情報を取得」と「ハードウェアバージョンを取得」は使用できません。
- ④「動作モード」タブの「動作モード」指定および「用紙」タブの「メカニズム補正—各種オフセット」指定が制限されます。

## 12. Q&A

### Q1 「プリンタドライバがインストールできない、インストール時にエラーが発生する」

- チェック** インストールしようとしているユーザーは Administrator（管理者）権限ですか？ Administrator 権限ユーザーでインストールをおこなってください。
- チェック** Windows Server OS でリモートデスクトップサービスが起動されていませんか？ リモートデスクトップサービスを一時的に停止するか、モードをインストールモードに変更してインストールをおこなってください。
- チェック** リモートデスクトップなどを利用して遠隔コンピュータからインストールしようとしていませんか？ インストールするコンピュータ上でインストールをおこなってください。
- チェック** 古いバージョンのプリンタドライバがすでにインストールされていませんか？ アンインストーラーを使って古いバージョンのプリンタドライバをアンインストールし、コンピュータを再起動して最新のプリンタドライバでインストールをおこなってください。

### Q2 「印刷に失敗する」

- チェック** プリンタの電源は入っていますか？ プリンタにケーブルは接続されていますか？ プリンタの電源を入れ、ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- チェック** プリンタの通信プロトコルは、ステータス 4、またはステータス 5 になっていますか？ プリンタドライバを使用する場合、通信プロトコルはステータス 4、またはステータス 5 になります。プリンタの通信プロトコルをステータス 4、またはステータス 5 に設定してください。
- チェック** プリンタドライバの COM ポートは正常に動作していますか？（RS-232C をご使用の場合）プロパティのポートタブにて、印刷ポートを COM に指定し、ポートの構成のデバイスチェックで「本デバイスはほかのドライバで使用しているため使用できません」と表示される場合、ほかのドライバがその COM を専有しています。印字対象以外のプリンタドライバのポート設定を確認し、COM の設定を外してください。

### Q3 「プリンタで印字したバーコードが読めない」

- チェック** バーコードがイメージで作成されていませんか？ プリンタドライバを使用して、バーコードフォントやバーコードイメージ（BMP データ）などを印字する場合、印字されたバーコードがスキャナで読み取りできない場合があります。これは描画されたバーコードとプリンタの解像度が異なることでバーコードを正しく印字できないことが原因です。プリンタドライバのクリエイティブバーコードをご利用ください。

### Q4 「プリンタドライバで設定した印字速度や印字濃度、基点補正などが有効にならない」

- チェック** 使用しているアプリケーションソフトを確認してください。弊社ソフトウェア（Multi LABELIST シリーズなど）を使用した場合、プリンタドライバの設定でなく弊社ソフトウェアの設定が有効になります。弊社ソフトウェア側のプリンタ印字条件を確認してください。

### Q5 「印字がずれる」

- チェック** プリンタドライバの用紙設定がされていますか？ プリンタドライバの用紙設定でご使用のラベルサイズで用紙登録をおこない、登録した用紙を選んで発行してください。

※ 現象が解消しない場合は、弊社営業、販売店、ディーラー、または、お客さまヘルプデスクにお問い合わせください。

お問い合わせ先： 0120-696310

受付時間：24 時間 365 日

## 13. ご注意

### ●ご注意

製品を安全にご使用いただくために、「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

フォント、ロゴデータについては、お客様にてマスタデータの管理をお願いします。いかなるときも本プリンタに登録されているデータは保証いたしません。

### ●本書の内容は予告なく変更する場合があります。

### ●使用許諾について

各種ソフトウェアをご使用いただく上で、はじめに

<https://www.sato.co.jp/support/agreement.html> にある「ソフトウェア使用許諾契約書」をご確認ください。

### ●動作環境について（お使いになるコンピュータは以下のスペックを推奨します）

◆ 米国マイクロソフト社の OS ごとの推奨スペック以上でご使用ください。

◆ 画面の表示色 32,000 [High Color (16 ビット)] 以上の表示

◆ 画面サイズ 1024×768 ピクセル以上

◆ 対応 OS

<x86 版 OS (32bit 版 OS) >

Windows 8.1/10

<x64 版 OS (64bit 版 OS) >

Windows 8.1/10/11/Server 2012/Server 2012 R2/2016/2019/2022

※ARM 版 Windows は動作対象外です。

### ●Windows は、米国マイクロソフト社の登録商標です。

### ●Atheros は、Qualcomm Atheros, Inc.の登録商標です。

### ●以下は、Wi-Fi Alliance の商標です。

・WPA™

・WPA2™

### ●その他すべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

**AVTO**